

敷島支え合い新聞

2022年(令和4年)
10月号

発行

敷島自治区 支え合い社会創造
プロジェクト (協カ:MYパワー)

① 支え合い社会創造プロジェクト

8月20日、21日の2日間にわたって、旧杉本保育所「しきしまの家」をDIY講座として改装作業を行いました。

講師は地元大工の松井幸生氏、高山栄氏。

参加者は自治区役員、プロジェクトメンバー、地元企業ワイズ、リコーシヤパンの社員、学泉大学21人とMYパワーの皆さん、延べ50人余り。

作業は、旭木の駅プロジェクトが切り出した地元のヒノキの間伐材を、あさひ製材で本実加工して、ホゾとホゾをつなぎ合わせて張りました。

材を寸法通りに切る者、運ぶ者、ボンドを付ける者、タッカーで打つ者、すべての者の息がぴったりで、生き生きと声を掛け合いながら進む作業は、すがすがしい空気に満ち溢れていました。

中日新聞新三河タイムス矢作新報で大きく取り上げていただきました



支え合い拠点「しきしまの家」木質化DIY講座♪ 壁がすべて地元間伐材で張替えられました！



加えて、学泉大の学生さん達による周辺の草取りや、女性参加者による床面の掃除や片づけも進み、おかげで予定よりも早く終わりました。

ただ、準備した木材が少し足りなかったため、あと少し壁面が残っていますが…

今後は、エアコンを設置したり、トイレを改修したりの作業に入ります。「しきしまの家」が変わっていく様子を、地域の皆さんにどんどん見ていただきたいと思います。いつでも覗いてください。10月22日には内覧会を開催します。

事務局の開設のために

今回の木質化工事では、わくわく事業の補助金を活用しました。次は厨房づくりやトイレの改修工事などに取り掛かります。

それら資金は、住民のみなさんや出身者の協賛金、企業の寄付金などでまかないたいと考えています。また、MYパワーへの電力切替で地域還元されるお力ネも活用します。

さらに、敷島自治区のホームページを作成し、インターネットを介して広く資金を集める「クラウドファンディング」を行う準備も始まっています。



